

式 辞

北栄町は、町制施行 20 周年を迎えました。これまで町の発展のためにご尽力いただいたすべての皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。また、この記念すべき節目を町民の皆様と共に迎えられたことに大きな喜びを感じています。

またご多用の中、ご来賓として、中原鳥取県副知事、赤澤衆議院議員、舞立参議院議員、藤井参議院議員、県選出国會議員秘書の皆様をはじめ、また後でご紹介させていただきますが、多くの皆様にご列席を賜り、厚くお礼申し上げます。

またこの後、北栄町名誉町民第 1 号として顕彰する松本昭夫氏をはじめ、表彰を受けられる皆様方には、永年にわたり、まちづくりの各分野において、町制の発展や住民の模範となる徳業を示すなど多大な貢献をいただきました。これまでのご努力、ご労苦に対しまして、心から敬意を表しますとともに、支えてこられましたご家族や関係の皆様を含めまして、深く感謝申し上げます。今後も健康に十分ご留意いただき、さらなるご活躍をご期待申し上げます。

さて、20 年前、二つの町が一つとなり新たな歴史を刻み始めました。この 20 年を振り返りますと、鳥取県中部地震の発生や新型コロナウイルス感染症の拡大など、私たちの暮らしに大きな影響を与える出来事がありました。当たり前の日常の尊さや人と人とのつながりの大切さを改めて実感する期間でもありました。

このようななか、「稼ぎ賑わうまち」「未来を育てるまち」「誰一人取り残さないまち」「安全で持続可能なまち」「つながりを育むまち」そして「健全な財政運営」を目指し、様々な施策に取り組み、着実に成果を上げてまいりました。

産業分野では、「農業が盛んなまち」として、毎年8人の新規就農者が地域の担い手となり、農業の生産基盤を支えています。4月末にオープンした「道の駅ほうじょう」は8月末時点で36万人を超える方にご利用いただき、地方創生の一端を担っています。また令和6年度には、新たな起業された方が13件あり、地域経済に新たな活力をもたらしています。

観光分野では、来館者が年間23万人を超える「青山剛昌ふるさと館」が、令和9年春の開館を目指し新築移転を進めており、「名探偵コナンに会えるまち」として、さらなる集客と賑わいの創出を期待しています。

子育て・教育分野では、妊娠・出産・子育てについての伴走的な相談に応じる体制を整備し、また子どもたちが安心して学べる環境を整えるため、学校施設の空調整備や大規模改修を行いました。

福祉分野では、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制として、新たに重層的支援体制を整備しました。また介護予防に重点をおいた施策では、県内で要介護認定率は最も低い数値を維持しています。

交通分野では、タクシー利用料助成や共助交通の導入を通じて、生活基盤を支えて

います。

環境分野では、町のシンボルでもある町営の風力発電所により「環境にやさしいまち」として、また、この度は脱炭素先行地域に選定され、再生可能エネルギーの地産地消を推進し、地域の課題解決と持続可能なまちづくりを目指し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

こうした一つ一つのまちづくりを推進し、北栄町は、魅力あるまちとして着実に発展してきました。

これまでの歩みを大切にし、目指すまちの姿である「人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち」の実現に向け、これからも皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、町制施行 20 周年にあたってのご挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。

令和 7 年 9 月 28 日

北栄町長 手嶋俊樹